



2024年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年7月3日

上場会社名 川口化学工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 4361 URL <https://www.kawachem.co.jp>
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 秀行
問合せ先責任者(役職名) 取締役経理部長 (氏名) 本間 義隆 (TEL) 048-222-5171
四半期報告書提出予定日 2024年7月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年11月期第2四半期の連結業績(2023年12月1日~2024年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年11月期第2四半期	4,248	1.0	202	29.5	211	35.6	192	59.7
2023年11月期第2四半期	4,206	6.6	156	△30.9	156	△33.6	120	△32.6

(注) 包括利益 2024年11月期第2四半期 172百万円(32.4%) 2023年11月期第2四半期 129百万円(△30.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年11月期第2四半期	158.38	—
2023年11月期第2四半期	99.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年11月期第2四半期	8,041	2,749	34.2
2023年11月期	8,340	2,638	31.6

(参考) 自己資本 2024年11月期第2四半期 2,749百万円 2023年11月期 2,638百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年11月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2024年11月期	—	0.00	—	—	—
2024年11月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年11月期の連結業績予想(2023年12月1日~2024年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,000	4.5	300	△15.2	300	△12.9	200	△21.7	164.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年11月期 2 Q	1,220,000株	2023年11月期	1,220,000株
2024年11月期 2 Q	2,531株	2023年11月期	2,531株
2024年11月期 2 Q	1,217,469株	2023年11月期 2 Q	1,217,469株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、長期化するロシアによるウクライナ侵攻に起因するエネルギー価格の高止まり、中東における地政学的リスク、世界的な金融政策の引き締めによる世界経済の減速懸念、継続する中国経済の低迷など依然として不透明な状況が続いております。

米国では、良好な所得環境から堅調な個人消費が持続していますが、金融引き締めにより全体では景気拡大のペースに鈍化がみられます。また、中国においては不動産市場の悪化による景気の減速感は一服したものの、個人消費の落ち込みにより景気は低迷しました。

日本経済は、インバウンド需要の回復、賃金上昇と雇用情勢の改善、円安による企業業績の改善、また、日経平均株価がバブル期以来となる最高値を更新するなど、緩やかな景気回復が継続いたしました。

当社グループに関係の深い自動車産業においては、生産は回復基調となりましたが、一部メーカーの品質問題による生産停止の影響はまだまだ続いております。

このような環境の中、当社グループは2022年を起点とする中期経営計画（第121期「2022」から第125期「2026」まで）「ACCEL2026－革新を強力に推進し、成長を加速する」で策定した目標の実現に向け、受託合成品の拡大、新製品開発の推進及び市場拡大への挑戦を更に進めるうえで、生産能力の増強を目的に既設マルチプラントへの設備投資を進めております。

経営資源の効率化とコストダウンを全社規模で取り組んだうえで、更なる品質の向上、安定供給を進めるために不可欠な人材確保を目的とする労働環境の改善に着手し企業価値を高める活動を積極的に行っております。

このような状況の下、ゴム製品の販売は自動車生産の回復と海外向け汎用品の需要回復及び特殊製品の新規用途向け販売の増加により、売上は前年同期を上回りました。樹脂製品、中間体、その他製品については市場低迷の影響を受け、売上は前年同期を下回りました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は42億48百万円（前年同期比1.0%増）営業利益は2億2百万円（同29.5%増）、経常利益は2億11百万円（同35.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億92百万円（同59.7%増）となりました。

セグメント業績の概況は次のとおりであります。

①化学工業薬品事業

売上高は42億29百万円（同1.0%増）、セグメント利益（営業利益）は1億87百万円（同32.7%増）となりました。

②不動産賃貸事業

売上高は19百万円（同0.1%増）、セグメント利益（営業利益）は15百万円（同0.1%増）となりました。

（化学工業薬品事業の部門別の概況）

<ゴム製品>

ゴム製品の分野において、国内の工業用品向け製品は自動車部品関連向け製品を中心に売上は増加しました。タイヤ向け製品は販売を増やした製品もありましたが、主力製品の販売が低迷し売上は前年同期を下回りました。合成ゴム向けは自動車関連用途向け特殊ゴム需要の回復とスポット販売製品を受注することができたことにより、売上は前年同期を上回りました。

海外向けは当社が得意とする特殊加硫剤の新たな用途を開拓することができ、大幅に売上を増やしました。また、汎用製品及び医療用途向け製品の需要回復により売上は前年同期を上回りました。

この結果、国内・輸出合わせてのゴム製品部門合計の売上高は24億34百万円（前年同期比9.7%増）となりました。

<樹脂製品>

樹脂製品の分野は、主要販売先であるアクリル酸・アクリル酸エステルの需要が国内、海外共に低迷し主要製品の売上が減少しました。電子材料関連向け製品は、緩やかな需要の回復が見られましたが、売上は前年同期を下回りました。

この結果、樹脂製品部門合計の売上高は4億21百万円（同7.9%減）となりました。

<中間体>

中間体部門において、界面活性剤中間体は顧客の需要が堅調に推移し、売上は前年同期を上回りました。農薬中間体は需要が低迷し、主力製品の売上は前年同期を下回りました。医薬中間体は医療用途脱水縮合剤の需要が低迷し、売上は前年同期を下回りました。染料用途製品は緩やかな需要回復が見られたものの、売上は前年同期を下回りました。

この結果、中間体部門合計の売上高は5億26百万円(同15.5%減)となりました。

<その他>

当社が得意とする合成技術を基盤とする特殊添加剤の需要は堅調に推移し、今後も増える見通しであります。電子材料向け製品の販売は売上を増やした製品もありましたが、品質・技術に優位性を持つ電子材料用途脱水縮合剤が需要低迷の影響を受け、売上は前年同期を下回りました。

この結果、この部門合計の売上高は8億46百万円(同4.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産につきましては80億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億98百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が96百万円、受取手形及び売掛金が3億75百万円、有形固定資産が61百万円減少したことに対し、棚卸資産が2億50百万円増加したことによります。

負債につきましては52億92百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億10百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が1億21百万円、未払消費税等が1億3百万円、退職給付に係る負債が68百万円、流動負債その他のうち未払費用が61百万円減少したことによります。

純資産につきましては27億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億11百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が1億31百万円増加したことによります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ96百万円減少(前年同期は88百万円の増加)し、9億46百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、税金等調整前四半期純利益、売上債権の減少等による資金の増加に対し、棚卸資産の増加、仕入債務の減少、退職給付に係る負債の減少等による資金の減少により89百万円の収入(前年同期は2億23百万円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、投資有価証券の売却による収入等による資金の増加に対し、有形固定資産の取得による支出等による資金の減少により96百万円の支出(前年同期は2億17百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、配当金の支払等による資金の減少により1億円の支出(前年同期は79百万円の収入)となりました。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年11月期の通期連結業績予想につきましては、2024年1月15日に公表いたしました連結業績予想数値からの変更はございません。詳細につきましては、本日公表の「2024年11月期第2四半期連結業績予想数値と実績値との差異に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,043,816	946,977
受取手形及び売掛金	3,080,334	2,705,324
商品及び製品	1,095,822	1,213,540
仕掛品	412,440	377,039
原材料及び貯蔵品	367,593	536,007
その他	21,706	61,878
貸倒引当金	△5,236	△4,599
流動資産合計	6,016,478	5,836,169
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	1,016,557	963,212
その他(純額)	1,102,631	1,094,624
有形固定資産合計	2,119,188	2,057,837
無形固定資産		
その他	18,278	15,872
無形固定資産合計	18,278	15,872
投資その他の資産		
その他	187,947	133,210
貸倒引当金	△1,300	△1,300
投資その他の資産合計	186,647	131,910
固定資産合計	2,324,115	2,205,620
資産合計	8,340,594	8,041,789
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,446,876	1,324,958
短期借入金	2,160,000	2,160,000
1年内返済予定の長期借入金	430,556	60,556
未払金	255,391	268,173
未払法人税等	36,370	50,389
未払消費税等	107,916	4,240
役員賞与引当金	16,200	5,700
その他	308,612	214,076
流動負債合計	4,761,923	4,088,094
固定負債		
長期借入金	534,762	873,094
役員退職慰労引当金	79,950	82,668
退職給付に係る負債	194,988	126,388
その他	130,545	121,914
固定負債合計	940,246	1,204,065
負債合計	5,702,170	5,292,159

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	610,000	610,000
資本剰余金	58,437	58,437
利益剰余金	1,881,096	2,013,050
自己株式	△8,202	△8,202
株主資本合計	2,541,332	2,673,286
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	46,890	15,981
為替換算調整勘定	50,201	60,362
その他の包括利益累計額合計	97,091	76,343
純資産合計	2,638,424	2,749,629
負債純資産合計	8,340,594	8,041,789

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年12月1日 至2023年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年12月1日 至2024年5月31日)
売上高	4,206,904	4,248,278
売上原価	3,491,200	3,470,153
売上総利益	715,704	778,125
販売費及び一般管理費	559,348	575,706
営業利益	156,355	202,418
営業外収益		
受取利息	1,216	1,521
受取配当金	1,371	1,095
貸倒引当金戻入額	329	637
為替差益	24	3,222
受取補償金	1,763	—
受取設備負担金	—	10,000
その他	4,105	2,798
営業外収益合計	8,810	19,275
営業外費用		
支払利息	8,868	9,474
その他	36	333
営業外費用合計	8,904	9,808
経常利益	156,261	211,885
特別利益		
投資有価証券売却益	—	42,660
特別利益合計	—	42,660
特別損失		
固定資産除却損	1,064	2,146
特別損失合計	1,064	2,146
税金等調整前四半期純利益	155,197	252,399
法人税、住民税及び事業税	26,666	40,715
法人税等調整額	7,797	18,857
法人税等合計	34,464	59,572
四半期純利益	120,732	192,827
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	120,732	192,827

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年12月1日 至2023年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年12月1日 至2024年5月31日)
四半期純利益	120,732	192,827
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,107	△30,909
為替換算調整勘定	3,090	10,161
その他の包括利益合計	9,197	△20,748
四半期包括利益	129,929	172,078
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	129,929	172,078
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	155,197	252,399
減価償却費	201,810	200,147
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△329	△637
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△25,210	△68,600
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△11,100	△10,500
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△26,325	2,718
受取利息及び受取配当金	△2,588	△2,617
為替差損益 (△は益)	678	△588
支払利息及び社債利息	8,868	9,474
固定資産除却損	1,064	2,146
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△42,660
売上債権の増減額 (△は増加)	193,667	375,010
棚卸資産の増減額 (△は増加)	150,108	△250,730
仕入債務の増減額 (△は減少)	△340,818	△121,917
未払消費税等の増減額 (△は減少)	67,192	△103,676
その他	△120,768	△116,207
小計	251,448	123,761
利息及び配当金の受取額	2,588	2,617
利息の支払額	△8,811	△9,498
法人税等の支払額	△22,027	△27,294
営業活動によるキャッシュ・フロー	223,197	89,585
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△220,908	△143,412
無形固定資産の取得による支出	—	△428
投資有価証券の売却による収入	—	44,609
その他	3,893	3,021
投資活動によるキャッシュ・フロー	△217,015	△96,210
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	200,000	—
長期借入れによる収入	—	370,000
長期借入金の返済による支出	△50,796	△401,668
リース債務の返済による支出	△8,861	△8,861
配当金の支払額	△60,513	△60,433
財務活動によるキャッシュ・フロー	79,828	△100,963
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,411	10,749
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	88,421	△96,838
現金及び現金同等物の期首残高	910,919	1,043,816
現金及び現金同等物の四半期末残高	999,341	946,977

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項は有りません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	化学工業薬品事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	4,187,724	—	4,187,724	—	4,187,724
その他の収益	—	19,179	19,179	—	19,179
外部顧客への売上高	4,187,724	19,179	4,206,904	—	4,206,904
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,187,724	19,179	4,206,904	—	4,206,904
セグメント利益	140,979	15,375	156,355	—	156,355

(注) 1. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく不動産賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	化学工業薬品事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	4,229,080	—	4,229,080	—	4,229,080
その他の収益	—	19,197	19,197	—	19,197
外部顧客への売上高	4,229,080	19,197	4,248,278	—	4,248,278
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,229,080	19,197	4,248,278	—	4,248,278
セグメント利益	187,025	15,393	202,418	—	202,418

(注) 1. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく不動産賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第2四半期連結累計期間(自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		
	化学工業薬品事業	不動産賃貸事業	計
顧客との契約から生じる収益	4,187,724	—	4,187,724
ゴ ム 薬 品	2,218,951	—	2,218,951
樹 脂 薬 品	458,033	—	458,033
中 間 体	622,610	—	622,610
そ の 他	888,129	—	888,129
その他の収益	—	19,179	19,179
外部顧客への売上高	4,187,724	19,179	4,206,904

当第2四半期連結累計期間(自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		
	化学工業薬品事業	不動産賃貸事業	計
顧客との契約から生じる収益	4,229,080	—	4,229,080
ゴ ム 薬 品	2,434,366	—	2,434,366
樹 脂 薬 品	421,920	—	421,920
中 間 体	526,265	—	526,265
そ の 他	846,527	—	846,527
その他の収益	—	19,197	19,197
外部顧客への売上高	4,229,080	19,197	4,248,278

(重要な後発事象)

該当事項はありません。